

愛媛県宇和島湾で得られたフジテガニ

水野 晃秀¹

¹ 愛媛県立宇和島水産高等学校



写真1 *Chiromantes villosus* フジテガニ (TKPM-AR 3187, 固定標本)



写真2 腹面 (写真1と同一個体)

種の記録

Sesarmidae ベンケイガニ科

Chiromantes villosus (A. Milne Edwards, 1869)

フジテガニ (写真1)

標本 徳島県立博物館節足動物標本 (TKPM-AR) 3187.

採集年月日: 2023年7月22日. 採集場所: 愛媛県立宇和島水産高等学校裏護岸 (愛媛県宇和島市明倫町: 33.2194N, 132.5521E). 採集方法: 徒手, 甲長 14.8mm, 甲幅 18.1mm. 抱卵雌 (写真2).

種の特徴

採集個体は, 甲の側縁には眼窩外歯を除いて歯がなく, 額域前縁と前側縁はわずかに隆起して縁取られて, その上に短毛が密生すること, 額域を正中線で分割する溝は, 中胃域を明瞭に縁取る溝に連続すること, 生時には, 鋏脚掌部には薄い紫色を呈していることが, 野元ほか (1999) や和田 (2012) のフジテガニの特徴と一致したため, 本種と同定した.

備考

本種はサモア諸島, カロリン半島, インドネシア (スマトラ島), マダガスカル島に分布し, 国内では和歌山県紀ノ川で 1998 年に初めて記録され (野元ほか, 1999), その後, 和歌山県以南から沖縄諸島にかけて記録された (岸野ほか, 2001; 環境省自然環境局 生物多様性センター, 2007). 愛媛県内では愛南町御荘湾周辺 (環境省自然環境局 生物多様性センター, 2007) および宇和島市三浦 (水野, 2016) から散見されているものの, 分布情報が少なく, 標本に基づく記録としては愛南町御荘中浦と平城で採集された 4 個体 (四国自然史科学研究センター甲殻類標本: SIHN-CR 3903, 3904, 3917(2)) のみである. 本報告は同県における標本に基づく 5 例目の記録となる. 採集された場所は防波堤の基部で, 個体は脚をたたんでじっとしている (疑死) 状態で見つけられた. 本種は国内で準絶滅危惧種に指定されており (和田, 2012), 本県においても詳細な生息状況の調査が必要である.

引用文献

- 環境省自然環境局 生物多様性センター. 2007. 第7回 自然環境保全基礎調査 浅海域生態系調査 (干潟調査) 業務報告書. 環境省自然環境局 生物多様性センター, 富士吉田. 236pp.
- 岸野 底・米沢俊彦・野元彰人・木邑聡美・和田恵次. 2001. 奄美大島から記録された汽水産希少カニ類 12 種. 南紀生物, 43(1): 15–22.
- 水野晃秀. 2016. 宇和島市三浦天満地区で観察されるカニ類. 愛媛の自然, 57(11): 7–8.
- 野元彰人・淀 真理・木邑聡美・岸野 底・酒野光世・和田恵次. 1999. 紀ノ川河口域で記録されたイワガニ科の 6 稀種. 南紀生物, 41(1): 5–9.
- 和田恵次. 2012. フジテガニ. 日本ベントス学会 (編), 干潟の絶滅危惧動物図鑑—海岸ベントスのレッドデータブック. 東海大学出版会, 秦野. 195.

(2023年12月19日受付, 2024年5月30日公開)

連絡先: 水野晃秀 (e-mail: tabirakuchi@yahoo.co.jp)

(Kouki Mizuno. 2024. Record of *Chiromantes villosus* (Sesarmidae) from Uwajima bay, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 24007)